

緑のまち

第41号

平成27年11月30日発行

公益財団法人日野市環境緑化協会

〒191-0016 日野市神明2-13-1

☎042-585-4740

<http://www.hinoryokka.org/>



緑でつながるひろがり



理事長あいさつ



萱嶋 信

アブラゼミからツクツクボウシへと蝉の声が変わり、木犀が香り、ヒガンバナが咲くと、夏から秋への季節の移り変わりを感じます。大きな災害をもたらした異常な気象や、毎日熱中症患者数や死者が報じられた異様に暑かった夏を経ても、植物や動物たちは、季節に合わせた営みを続けてくれているようです。

ヒガンバナが、ここ数年、市内の公園でも目に付くようになった気がします。「田の畔を埋め尽くすようにヒガンバナが咲いていたのがなつかしい」と、せっせと球根を増やし、植えていた人が、市役所にいたそうです。きっと、その方のおかげもあるのでしょう。大木島自然公園と同じように、ヒガンバナでも市民に楽しんでもらえる公園が増えるかも知れません。

市内には公園をきれいに維持しようとボランティアで清掃等を行っている方が大勢います。意のある方、興味のある方は当協会へご連絡下さい。

当協会は市内の緑化を推進するためにいろいろな活動を行っておりますが、この「緑のまち」で、その一部を紹介させていただきました。どの事業も市民の皆様の支えがなくてはできないことです。ご協力に感謝申し上げます。

平成26年度 決算

収 益	基本財産運用益	275,000円
	事業収益	19,814,521円
	受取補助金等	21,669,067円
	受取寄付金	19,758円
	雑収益	30,582円
経常収益計		41,808,928円
費用	事業費	37,223,019円
	管理費	4,658,850円
経常費用計		41,881,869円

平成27年度 予算

収 益	基本財産運用益	275,000円
	事業収益	21,063,000円
	受取補助金等	21,670,000円
	受取寄付金	20,000円
	雑収益	31,000円
経常収益計		43,059,000円
費用	事業費	38,041,056円
	管理費	5,017,944円
経常費用計		43,059,000円

緑の募金

今年も自治会・老人クラブ・各事業所等をはじめ、多くの方々の緑化に対する深い御理解と御協力により、たくさんの「緑の募金」が寄せられました。

お預かりした募金は、東京緑化推進委員会に納入し森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内公共施設や公園等の花壇に四季折々の花を植付けるなど、多くの場面で役立っています。皆さまのご協力、ありがとうございました。

平成27年度募金総額（10月末現在）

1,618,619円

自治会・管理組合	797,753円
老人クラブ	129,947円
市立小・中学校	28,012円
私立幼稚園・保育園	56,268円
団体・事業所	373,204円
一般・街頭募金	109,324円
市役所機関	124,111円

緑化協会からのお知らせ

腐葉土・肥料 販売

*** 腐葉土の販売を再開しました ***

緑化協会では放射性物質の検査を行い、安全な腐葉土を販売しています。

2種類の肥料もあわせて、是非ご利用下さい。



花の交流広場

*** SOS！ 種子が不足しています ***

緑化協会では市民の皆様の善意で集まった花の種子を無料で配布していますが、最近では不足して困っています。是非ご自宅で採れた種子をご提供下さい。



緑化協会掲示板

*** 掲示板を設置しました ***

緑化協会や日野市のイベントなどの情報を掲示しています。お近くを通った折には、覗いてみて下さい。



❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖ 平成27年度事業実績 (その1) ❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

緑のリサイクル

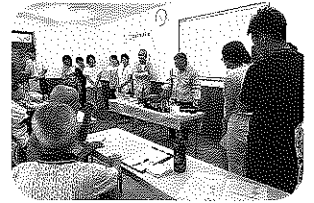
毎年大人気のこのイベントは、今年もたくさんの方のご協力とご参加で、大盛況となりました。



ご提供いただいた植物は、152種類965点となり、配布日の4月25日(土)も、協会前には朝から延べ392人と大勢の方にお越しいただきました。また、ご希望の方には、腐葉土や肥料の販売と、「花と緑の健康相談」も行いました。

菊の育て方講習会

秋に開催する「菊花コンテスト」に出品していただくために、日野市菊友会から講師を迎え、7月は「大菊の育て方講習会」を行い、大菊の苗を配布しました。8月には、菊苗の無料配布に先立ち「ポットマム・スプレー菊の育て方講習会」を行いました。菊の植付け実演や水やりのコツなど詳しく教えていただきました。



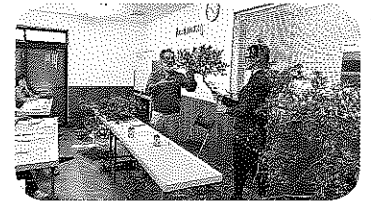
ポットマム・スプレー菊の市民配布

8月22日(土)、日野市の花「菊」の普及と、秋に開催する「菊花コンテスト」に参加していただくため、ポットマム・スプレー菊の苗と育て方のテキストを市内5会場で無料配布しました。また、菊苗植付けに必要な、腐葉土や肥料の販売も行いました。



庭木の手入れ講習会

10月8日(木)日野緑進会から講師を招き講習会を行いました。



緑化交流センターで、お話を伺った後、日野中央公園内の都市緑化見本園で剪定実習も行いました。

今年は、ゴヨウマツ、チャボヒバ、カエデなど、人気の庭木が中心で、ご自宅のお庭ですぐ役立つ剪定方法など教えていただきました。

平成27年度 今後の事業予定

緑の写真展

平成27年12月15日(火)～12月24日(木)

場所：市役所1階市民ホール テーマ①「日野の四季」 テーマ②「わが家の緑」
募集期間は、11月4日(水)～12月4日(金)です。お気軽にご参加ください。

稲わら竹細工講習会

平成27年12月17日(木)開催

自然の素材、稲わらと竹を使って、ミニ門松を作ります。*詳細は「広報ひの」12月1日号掲載

春の草花・家庭果樹管理講習会

平成28年2月4日(木)開催予定

春を迎える前に、草花の管理のコツなど学んでみませんか?
*詳細は「広報ひの」1月15日号掲載予定

ガーデニング講習会

平成28年3月10日(木)開催予定

ガーデニングをこれから始めてみようという方も是非!
*詳細は「広報ひの」2月15日号掲載予定

スプリングフェスタひの

平成28年3月26日(土)・27日(日)開催予定

日野中央公園にて各種イベントや市内商工業者等による模擬店が出店されます。
*詳細は「広報ひの」3月15日号掲載予定

※詳しくは、いずれも協会ホームページをご覧ください。(http://www.hinoryokka.org/)

平成27年度事業実績 (その2)

配布苗 菊花コンテスト



市民一般の部 日野市長賞



展示期間：平成27年11月2日(月)～11月12日(木)

8月22日に市民配布、26日に老人クラブ、9月2日に市内小学校など、総数約8,500本配布した菊苗が今年も立派に咲いて、たくさんの作品のご応募がありました。入賞した下表23賞を、11月12日にひの煉瓦ホールで表彰しました。

平成27年 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

(敬称略)



小学校の部 日野市長賞



老人クラブ・大菊の部 日野市長賞

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	船木ます子	小島長蔵	宮川利男	中部長生会	悠悠クラブ	第六小学校
日野市議会議長賞	天野正次	菊地邦雄		悠悠クラブ	川北クラブ	豊田小学校
日野市教育委員会委員長賞						平山小学校
(公財)日野市環境緑化協会理事長賞	前山堅二	船木ます子	菊地邦雄	川北クラブ		滝合小学校
日野市老人クラブ連合会会長賞				親和会		
日野市菊友会会長賞	増澤征枝	宮川利男				
東京南農業協同組合組合長賞	菊地満子	前山堅二		程久保長生会		



第11回 ガーデニングコンテスト



今年も新緑が眩しい5月に、ガーデニングコンテストを開催しました。バラが見事に咲きだすこの時期は、1年間丹精込めて育てた努力が報われるひとときですね。今年もとても素晴らしい作品にめぐり合えました。

受賞された方々は、右表の通りです。来年も、たくさんのご応募お待ちしております！

賞名	氏名
日野市長賞	板谷モア様
日野市議会議長賞	井上久美子様
日野市環境緑化協会理事長賞	豊田直子様
審査員特別賞	人見まり子様



日野市長賞 《板谷宅庭》
「妖精(フェアリー)の住む庭」



緑化協会理事長賞 《豊田宅庭》
「思いがっぴいつまった庭！」

日野市議会議長賞 《井上宅庭》
「シークレット・ガーデン」



日野市の花壇・プランター



神明上グリーンベルト花壇

公益財団法人日野市環境緑化協会では、緑化推進事業として、季節ごとに様々な花卉を植付けしています。植付場所は、市役所前をはじめ、市内の公園、グリーンベルト、公共施設等市内全68カ所あり、花壇愛護会・花壇ボランティアなどの方々と一緒に取り組んでいます。これからも「緑あふれる、うるおい豊かな街づくり」を目指して事業を行ってまいります。皆さん、お楽しみに!!



植付けに使っているお花をいくつかご紹介します!

春 パンジー



豊富な花色や育てやすさ、花付きの良さなどから春の花壇に欠かせないお花です。

植付けのポイント

植付けは霜が降りる前の10月～11月に行います。6月位まで咲き、枯れてしまうので植え替えの必要はありません。

ポット苗の根切りが大切!

ポットから抜いたら…
*底の部分をはりりと剥がす
*側面は3、4か所、垂直に根を切るように溝を作る。
このようにすれば、新しい根が伸びやすくなります。

手入れ

こまめに花から摘みをする
と長くお花を楽しめます。

夏 サルビア



赤いサルビアは育てやすく、赤い花と緑の葉っぱのコントラストが鮮やかで、花壇が華やかになります。サルビアの語源は「サルベオ(治療)」です。最近では、白や紫色もあります。

植付けのポイント

開花時期は7月～10月。日当たりの良い場所が好ましいですが、真夏の直射日光には弱いため「半日蔭」での管理をおすすめします。

気を付けて…

サルビアの花を摘んで蜜を吸う人がいますが、蜜にはわずかながら毒が含まれているという説もありますので、ほどほどにしてくださいね!

秋 菊



日野市の花といえば、菊! 菊は奈良時代に中国から日本に渡って来たとも言われています。比較的強い植物で、寒さにも耐える宿根草。キク科植物は、世界に2万種、日本の自生種でも4百種ほどあるそうです。菊は5月～翌年1月位までの期間、色々な時期に咲く種類があります。

植付けのポイント

土が乾いたら水やりをします。冬でも夏でも水をやる時には鉢底からはみ出す位にしっかりとあげてください。土が乾く前に頻繁にあげすぎると、腐ってしまうので注意してください。

冬 ノースポール



元気がよく頑健で、冬にも花を咲かせる冬のガーデニングの定番です。他の草花との相性も良く、コンテナや寄せ植えの素材としても人気があります。

植付けのポイント

苗の植付けは10月上旬若しくは3～4月が適期です。1株でもよく枝分かれして茂るので、苗と苗の間隔は十分に空けます。65センチの細長いプランターなら、4株位が適当です。1年草なので植え替える必要はありません。よく日に当てて育てます。日照不足になると茎がひょろひょろになり、花付きも悪くなります。

市民ボランティア募集中!

お花に興味がある方、日野市内の公園等をお花いっぱいに見ませんか?

花卉は緑化協会でご支給します。

植付けや水やり、草取りをお手伝いして下さる方をお待ちしております。

植付け場所や時期等は制限もありますので、お気軽にご相談ください!!

☎ 585-4740

四中生徒の職場体験学習

今年も日野第四中学校から生徒さんが来てくれました。緑化事業の説明を、熱心に耳を傾け真剣に聞いてくれました。雨の中の公園清掃、ハウスでの肥料の袋詰め、畑の除草作業など、初めての作業にも一生懸命に取り組んでくれました。

3人のチームワークが素晴らしく、とても印象的でした。体験職場に当協会を選んでくれてありがとうございます!



作文集 「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に二、四九八名の児童から応募がありました。

この中から今年も七名の審査員により入選作一〇六編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

日野市の川を大切に

潤徳小学校

四年一組 渡辺 瑞生

私は、二才〜六才まで日野市にある野外保育に通っていました。浅川や多摩川で夏は毎日泳いでいたのでとても親しみがありません。

日野市の川には、オイカワ、コイ、カジカ、ドジョウ、メダカ、アブラハヤ、フナ、カワムシやアメンボなど様々な魚や水生昆虫がいます。

小学校に入ってから、浅川潤

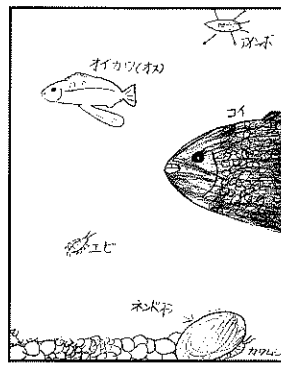
徳水辺の楽校というイベントで水質調査を行いました。学校の裏の浅川、向島用水やとんぼ池などの水質は、とても良く、とう度も一・三mほどあることが分かりました。

調べてみて分かったことは、魚や水生昆虫がいる自然豊かな川は、良い水質に支えられているということです。私が住んでいる場所の近くにこれだけきれいな川が流れているということは自まんでできることです。

川をきれいにするために、川で遊んだ後は野外保育の皆でゴミ拾いを行いました。

家では、お皿を洗う前に布

で油や調味料をぬぐってから水とアクリルたわしだけで洗える物は先に洗い、油を使っている物はせっけんを使って最後に洗っています。また、せんたくの時も粉石けんを使い、合成洗剤をできるだけ使わないように心がけています。



日野市の自然と野鳥

日野第五小学校

六年一組 森田 葵子

私が住んでいる地域は車通りが少なく、とても静かになる瞬間

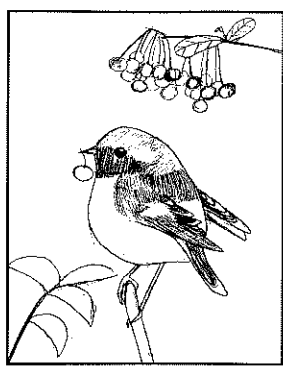
間があります。そんな時、家にも外にいても時期によって色々な美しい鳥の音が聞こえます。私はこの鳥の音が大好きです。私は、どうしてこんなに鳥が多いんだろう、と思いました。私は今まで、色々な所へ引越してきましたが、こんなに野生の鳥の音が聞こえる場所は初めてです。そこで、周辺を調べてみることにしました。

まず最初に気づいたのは、「公園が多い」ということです。日野市全体を見てみても、公園の緑がこちらで見られます。実は、このたくさんさんの公園には秘密がありました。日野市の公園には、何枚もの看板があります。ある公園では、実のなる木を植えたり、水場を作ったりして、野鳥を呼び寄せるための工夫をしているそうです。看板には、日野市にいる主な鳥がのっていました。そこにはメジロやシジュウカラ、ジョウビタキなどの生息時期やそれぞれの鳴き声が詳しく書いてありました。そして、調べてみると、私

が家でよく耳にする鳴き声の鳥は、メ...だということが分か

り、こんなにきれいな鳥が身近にいる事におどろきました。黒川清流公園には水場もたくさんあり、冷たくてすき通ったきれいな水が流れていました。さすが東京の名湧水というだけあって、新鮮な水が流れていました。

私はこんなに自然を大事にしている日野市はすごいなと思いました。そして、たくさんさんの鳥の声を聞くことができるのも、日野市が一生懸命工夫したからなんだと納得したと同時に、日野市に住んでいて良かったと思います。私はこの日野市の自然を保つために積極的にリサイクル活動に協力し、ごみを減らすなどして、野鳥がもつと来るように少しでもお手伝いができればいいなと思います。



日野市の緑

日野第七小学校

六年一組 黒田 えいみ

日野市には多くの緑があります。たくさん木や植物が植えられている公園は、中央公園やスポーツ公園など様々です。歩道の並木道は、車で走っていても季節を感じることができ、気持ちが良い、心も安らぎます。植物が植えてある場所は、空気がきれいでも人が過ごしやすいです。

植物が育ちやすい環境をつくるには、ゴミを拾ったり栄養をとられないように雑草を抜いたりする必要があります。

私は、年に二回の地域の清掃作業に積極的に参加しています。みんなでゴミ拾いをしたり雑草を取り除いたりしています。これは町の美化のためですが、過ごしやすい環境をつくるという点においては、同じではないかと思いません。空気が汚れたり、植物が育ち

にくくなる原因は排気ガスによる大気汚染です。これを少なくするためには、工場での努力や車なるべく水素や電気でするものに変えたりする必要があります。

この作文を書きながら、私が幼い頃に母が「どんぐり拾いができる日野市が大好き」という言葉を言っていたのを思い出しました。母に連れられて、どんぐりをたくさん拾って帰ってきていたのを覚えています。私も将来、子供と一緒にどんぐり拾いができるような、日野市の環境であってほしいと思います。

環境保護のためには、一人一人が関心を持ち、意識を高めることが重要だと考えます。



未来へつなごう大切なもの

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山 弘志

（公財）日野市環境緑化協会が募集している「緑のまち」作文に、今年度は日野市内の四年生・六年生が、二千四百九十八名の作文を寄せてくれました。私は、審査委員の一人として、それらの作文を丁寧に読ませていただきました。

作文の内容は、身の回りの風景、学校内の自然、水の歴史や現状、農家での体験、草花や野菜などの栽培体験、清掃活動体験、川や公園などでの動植物との触れ合い、開発に伴う自然の減少、ごみ問題やマナー、自然を守るための考えや決意などについて書かれたものが多く見られました。ほとんどの作文には、自然豊

かな緑の多い日野のまちがこれからもずっと続くようにしたいと言う皆さんの切実な願いが込められていたような気がしました。多くの作文に共通していたのは、「自然の中で生きていく虫や植物などの生き物は、人間にとつてかけがえないものである。だからみんなが自然を大切に、人も動植物もバランスよく生きられる環境にしたい。」と言うようなことだったと思います。

また、作文の中にはカワセミ、小鳥、小魚、ハヤ、ホタル、クワガタ、セミ、ドングリ、浅川、多摩川、川遊び、清流公園、雑木林、草花等々が数多く登場しま

した。私が嬉しかったのは、それらの動植物や大自然に児童の皆さんが日常的に触れ合うことで、身の回りの環境に愛着や感謝の気持ちを持ち、自分たちの大切なものとしてこれからもずっと大切にしていきたいという気持ちを強く抱いていることです。このような気持ちで郷土愛を育くみ、緑の多い素敵なまちづくりの原動力になると思います。児童の皆さんが心に描いているまちの姿に現在の日野のまちが近づくように、児童の皆さん一人ひとりの心と実践に期待します。そして、未来の人たちにも「緑のまち・日野」が引き継がれていくことを願っています。

吹上公園

地域の3大行事(夏まつり・子ども神輿・餅つき)を行う場所、そして日中には子どもたちの遊ぶ声が響き渡る場所、それが吹上公園です。

毎月、自治会行事として清掃活動を行う数日前には、役員の方が清掃日のお知らせメモを各戸にポスティングし、重点的な清掃箇所などに関しては老人クラブの方々とも連携を取りながら行っているようです。

この日の参加者は60名くらい、草が伸びると「子どもたちが虫に刺されて大変!」と汗だくになって草刈りをする大人の横で小さな子どもがゴミ袋の口を開いて待っている。何とも微笑ましい光景があちらこちらで…

様々な年代の方々が、掃除の仕方でも会話したり、時には虫取りに興じたりとても楽しそうに活動しているのが印象的でした。会員の方が呟いていたように『地域の交流の場』になっている素敵な公園でした。



公園

紹介



近所の方からの「キレイな公園だね」の声が励みになると口々に言いながら手を休めることもなく、この活動を継続したいと、「会員募集」のポスターを作って貼り出したりもしていました。

活動の最後には、公園で咲いて見ごろを過ぎたコスモスを刈り「楽しませてくれた花々、家で最後まで見てあげたい」と大切に腕に抱えて持ち帰っていました。その優しい光景に心が温かくなったのは言うまでもありません。



小構公園

住宅街の中にあり、沢山の子どもたちが集う小構公園。

公園

約14年前に公園を造る時から携わってきた方々を中心に、新しい方も加わった有志のグループが清掃活動を行っています。



毎回、10人前後の方が参加して行う活動は自分達で購入した花を日照の事までも考えて植付けしたりと、とにかく細やかな配慮をされているのが印象的でした。

取材日記

今回は「吹上公園」「小構公園」の2箇所にお邪魔しました。初めてお会いする方がほとんどでしたが、どの公園でも笑顔で迎えていただき、ありがとうございます。「吹上公園」での1コマです。子どもたちが率先して手伝いをする姿に感心していると、数名のお母さん達が「皆がお掃除しているのだから手伝うのは当然のこと」と。それを口にできる大人、実行できる子どもたち、本当に素敵な地域ですね!私も見習わなくちゃ!と心から思いました。「小構公園」でも朝から優しい光景に出会い、その日一日を穏やかな気持ちで過ごすことが出来ました。

愛護会 募集!

緑化協会では地域の公園を掃除したり花の植付けを実施して下さるボランティアを募集しています。自治会や老人クラブ、個人のグループなどで活動に興味のある方は、お気軽に緑化協会にお尋ね下さい。(☎ 585-4740)

【募集している主な公園】

・沢田公園 ・下耕地公園 ・ハケ下公園
・多摩平第3公園 など
(これ以外にも多くの公園で募集しています)



編集後記



この秋、日本人2人のノーベル賞受賞に国中が沸きました。このような偉大な研究ではなくても、日々の小さな積み重ねの大切さを痛感した方も多はず。

『継続は力なり』まさに本誌で紹介した愛護会を始め、緑化活動に協力いただいている沢山の市民ボランティアの方々には、これを実行されています。自分も少しでも活動の手助けが出来るように頑張ろう。と決意を新たにしました。

【K・A】